

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	水溶液を分別しよう
学年	小学校第6学年
目標	水溶液の性質を利用して、少ない条件で4つの水溶液の分別ができる。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	「Scratch」
環境	児童1人1台の端末を使用
都道府県	愛媛県
実施校	久万高原町立久万小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<ol style="list-style-type: none">1 実験結果をもとに、ワークシートを活用してフローチャートを作る。2 Scratch を起動し、使い方の確認をする。<ul style="list-style-type: none">・全てプログラムを作成することを求めているため、教師で途中まで作成したデータを活用する。3 プログラムを考え作成する。<ul style="list-style-type: none">・ワークシートを手がかりにプログラムを作成する。・近くの児童同士で教え合いながらプログラムを作成する。4 できあがったプログラムを使って、正しく判別できるか確かめる。<ul style="list-style-type: none">・4枚の水溶液カードを使って、2人組で確かめ合う。5 振り返りを行う。 
成果と課題	<p>水溶液の判別プログラムを作成することで、水溶液の性質をより深く理解することができた。</p> <p>Scratch の操作習得を別の時間に設定する必要がある。操作習得とプログラム作成は1単位時間内では不可能である。</p>